

雷サージカウンタ

■ 形式

VSC-5H-□□

- 10 : 穴径φ10mm (標準)
- 16 : 穴径φ16mm
- 24 : 穴径φ24mm

<ご注文に際しまして>

ご指定のない場合：10A/50A (標準レンジ) にて出荷

ご指定の場合：(例) 20A/100A

10A, 20A, 50A, 100Aの内

2レンジの組合せとしてご指示ください。

■ 主な機能と特長

- ・電池式だから停電時でも計数できる
- ・サージセンサは取り付けが簡単なクランプ式
- ・文字高さ14mmで大きく見やすい
- ・手動リセット付きで操作が簡単
- ・テストスイッチ付きで安心設計
- ・検出電流の変更は切替スイッチで簡単
- ・ハンディタイプに付き移動が簡単

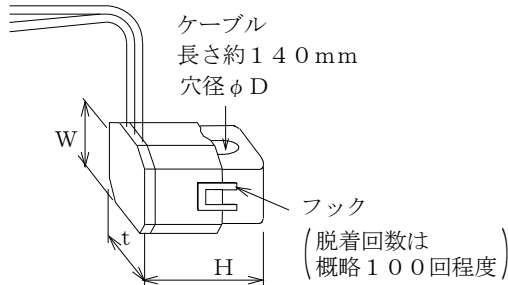
■ サージセンサ外形寸法図

サージセンサ外形寸法

穴径φ10 26W×38H×23t

穴径φ16 29W×45H×31t

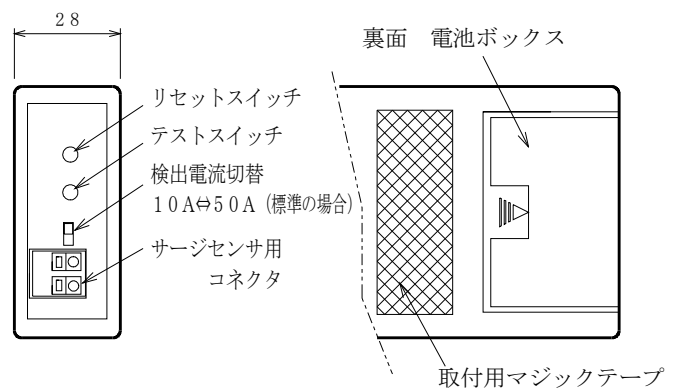
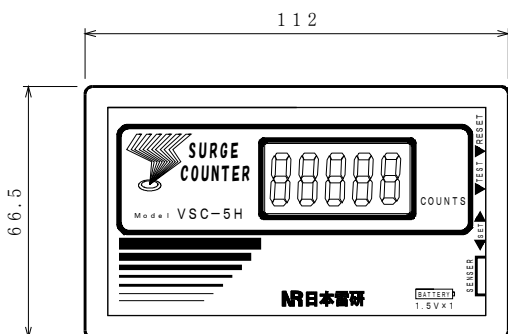
穴径φ24 34W×64H×45t



サージセンサの延長線サイズ

- 定格適合電線
- 単線：φ0.4-1.2mm AWG26-16
- 撚線：0.3-1.25mm² AWG22-16
- 剥ぎ線長：11mm

■ 本体外形寸法図 (単位：mm)



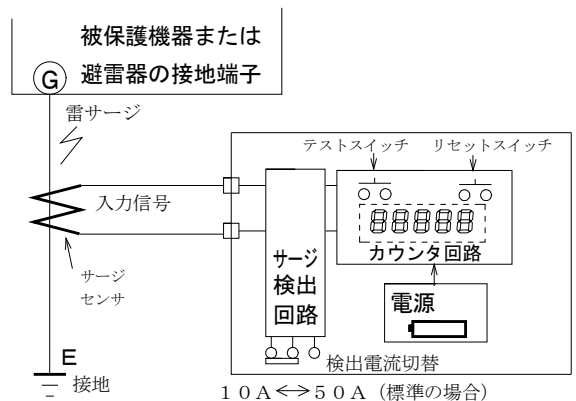
■ 仕様

- 電源：単3型電池 1.5V (1.2から1.8V)
- 消費電流：約4μA 入力ON時約7μA
- 電池寿命：2年以上
- 検出電流：インパルス8/20μs
標準仕様10A以上/50A以上 (スイッチ切替可)
- 表示方式：7セグメントLCD
- 桁数：5桁 (文字高さ14mm)
- 使用温度範囲：-10~+40℃ 但し氷結しないこと
- 使用湿度範囲：35~85%RH 但し結露しないこと
- 寸法：W66.5×H28×D112mm
- 重量：約130g
(電池込み、サージセンサは含まず)
- ケース外装：ABS樹脂 (ホワイトグレー)
- 取付：マジックテープ (付属品)

■ 付属品

- クランプ式サージセンサ 1個
- 本体取り付けマジックテープ 1枚
- 単3形 アルカリ乾電池 1個

■ 端子接続図



⚠ 避雷針のアースには使用しないでください。
サージセンサの極性はありません。

本器は、誘導雷サージから機器を避雷器で保護するにあたり、事前にどの程度影響を受けているのか状況を把握するためのカウンタです。この製品を安全に正しく使用していただくため、事前に下記の事項をご確認ください。

■ お願い

- ①入力端子には指定以外の部品を接続しないでください。
- ②取り付け時の注意
 - ・耐水性、耐油性では有りません。水気や油気をさけてください。
 - ・爆発性ガス、引火性ガスのあるところでは使用しないでください。
 - ・修理の際は販売店を通じて製造元に返送してください。

⚠ 避雷針のアースには使用しないでください。

■ 正しい使い方

①使用電池について

- ・単3形 アルカリ乾電池 1.5V 1本 長期間使用しない場合は取りはずしてください。

②電池の交換時

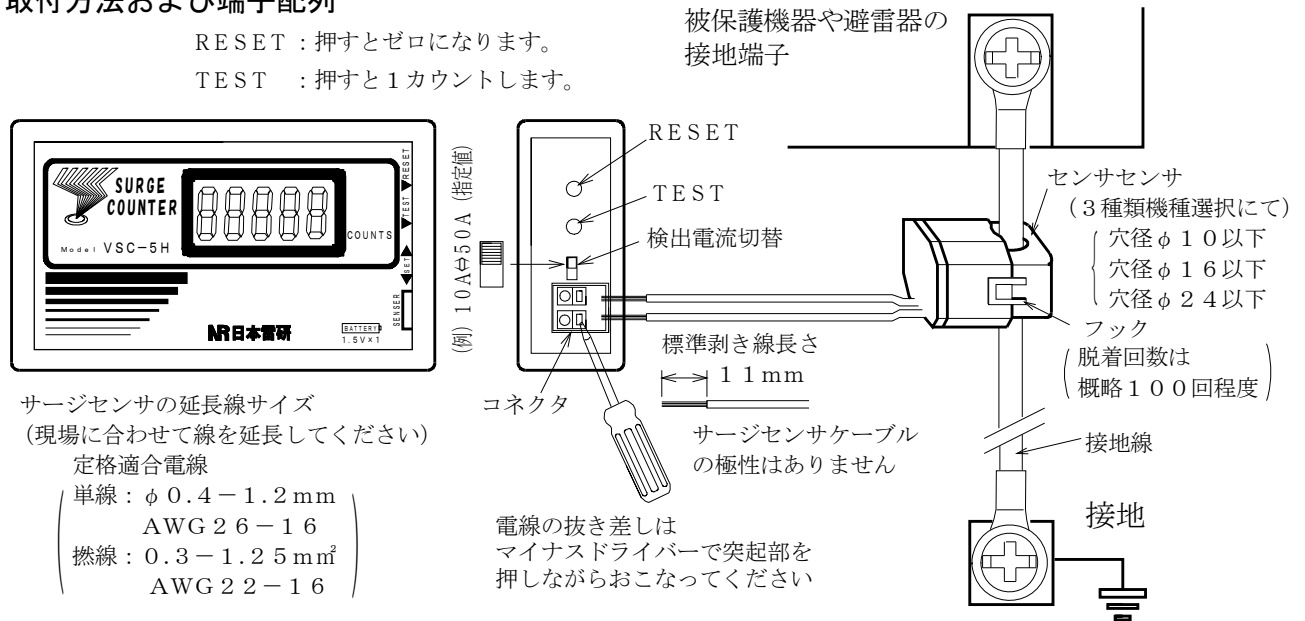
- ・計数値を残したい場合、電池抜き取り後、約30秒間は維持しますので、その間に交換してください。

③下記の環境では使用しないでください。

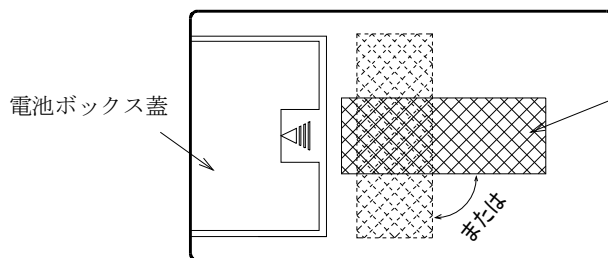
- ・温度変化の激しい場所 ・振動の激しい場所 ・湿度が高く、結露が生じる恐れのある場所。
- ・高圧電源付近や発電機、インバータなど強電磁界の多い場所。
- ・換気扇や蛍光灯のスイッチなどのノイズ源を避けて配線してください。

■ 取付方法および端子配列

RESET : 押すとゼロになります。
TEST : 押すと1カウントします。



■ 本体取付方法



取付用マジックテープ

- ・本体裏面の中ほどに貼りつけて使用してください。
- ・接着面の汚れをよく落としてご使用ください。
- ・裏紙をはがして使用した後、再び貼りなおすと粘着力弱くなりますので、ご注意ください。
- ・粘着剤は恒久的なものではありません。

■ 品質保証

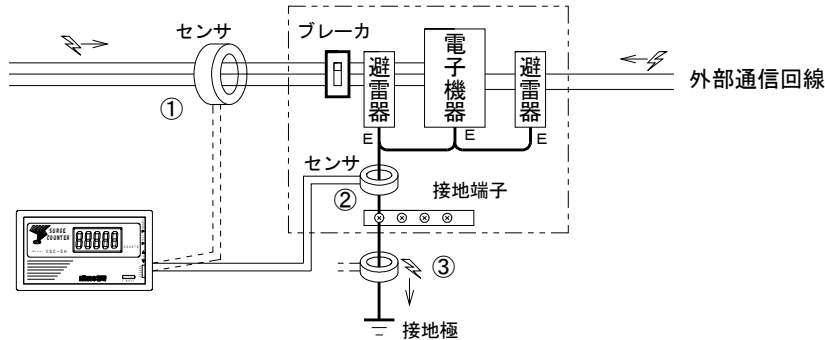
保証期間：ご納入後1年間の保証と致します。

保証条件：万一、当方の責任による不測の故障等が生じた場合、保証期間内において無償修理致します。

但し、引き取り修理とさせていただきます。

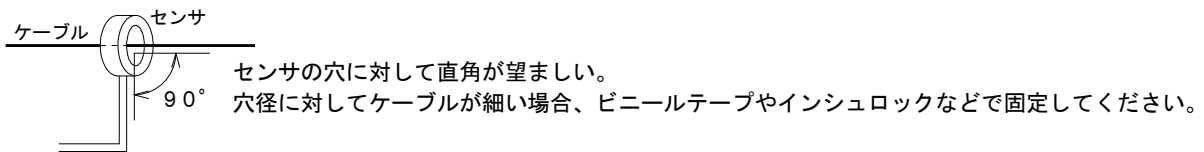
■ 設置方法

・電源ラインの場合

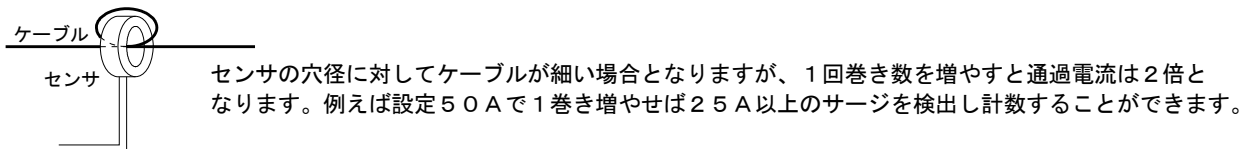


- ① 電源ラインは全線をクランプしてください。（常に位相がゼロであること）
- ② 避雷器の通過確認は接地端子のところでクランプしてください。（推奨）
- ③ 盤全体と接地間の場合は、接地端子以降でクランプしてください。
盤全体が建物の鉄骨などに取り付いている場合は、計数はできません。
また、避雷針、A種B種D種C種接地が同電位化されている場合は、
ノイズの影響により正しい計数ができないことがあります。

■ センサのつけ方



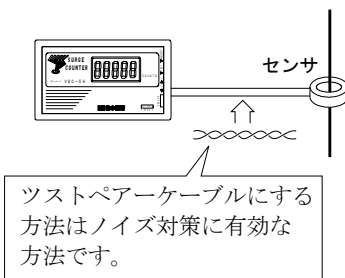
■ 設定よりさらに小さい雷サージを計数する方法



■ 設置に関する注意

近傍にノイズの発生源がある場合正しく計数しないことがあります。

- ・近傍にモーターなどある場合、常時ノイズが生じています。
- ・換気扇などある場合、スイッチのON/OFFでノイズが発生します。
- ・パネル内用の蛍光灯のON/OFF時ノイズが発生します。



（いずれも電波受信状態で防ぎようがありませんが、シールド線を使用するか、センサの2本のケーブルをツイスト（捻じる）することで多少軽減できることもあります。）